

街角の椅子写真眺めて 13日まで、兵庫区で40点展示

街角の椅子などを撮影した西宮市在住の映画プロデューサー・梶久森典妙さん(72)の写真展「どこいし合いや周囲の景色などから、椅子を巡る物語を思わせる」が、神戸市兵庫区の「ちびきやらいい侘香」で開かれていた。13日まで。入場無料。

テーマは「長い人生、ちょっと座って周囲を見回してみては」。映画館や河川



街角などの椅子をテーマにした写真を眺める梶久森さん(神戸市兵庫区で)

会場には梶久森さんの仕事仲間で、2月に82歳で亡くなった姫路市出身の活動弁士、井上陽一さんの追悼コーナーも設置。8日午後1時半から、ドキュメンタリー映画「井上陽一の世界」を上映する。梶久森さんは「息抜きに、写真から想像を巡らせて」と話す。

午前11時〜午後6時。映画は事前予約と鑑賞料500円が必要。問い合わせは5)

「ちびきやらいい侘香」
(078・361・505)

21 地域

神戸 豊岡 明石

三田 ● 姫路 ● 神戸 ● 阪神